

新領域「光輝（かがやき）」の学習を通して、様々な人々とともに、積極的に知識を幅広く活用し、粘り強く課題解決に取り組む中で、社会の発展に貢献する子どもの育成を目指します！

新領域「光輝（かがやき）」の授業

今回は、小中接続期（5・6・7年生）と義務教育完成期（8・9年生）の授業を紹介します。

「光輝（かがやき）」小中接続期部会 **(5年生)「世界中の人とWAIになろう！(国際交流)」**
(6年生)「2・6交流」
(7年生)「三原市の持続可能な開発目標の研究」

2・6交流でのスタンプラリー（6年生）

外国語で学んだコミュニケーションの5つのポイントを実践しながら英語で話しました。



ペアさんに喜んでもらうだけでなく、2年生が自分の課題も達成できるようにしたいと考えました。

調べ学習やフィールドワークをもとに、現状や問題点などを考えて、それを模造紙にまとめ、クラス全体へ中間報告を行いました。



小中接続期部会では、新領域「光輝（かがやき）」単元の目的や目標、内容の多くを自分たちで考え、実践していくことを通して失敗や成功を積み重ねていき、さまざまな資質・能力を身に付けるようにしています。行事をもとにした単元に加え、教科の学びを生かした単元を開発し、実施しています。今年度は小学校では様々な教科を組み合わせる授業をするもの、（5年：外国語・家庭科等、6年：社会科等）中学校ではSDGsを取り上げた取組を通して、「自ら学ぼうとする姿勢」や「論理的に問題を解決する力」、「コラボレーションする力」といった資質・能力を育む学習を行っています。

留学生さんにインタビュー（5年生）

三原市の持続可能な開発目標の研究（7年生）



「光輝（かがやき）」義務教育完成期部会 **(8年生)「SDGs ペア研究」**
教科の学習を超え社会に関心の目を向ける (9年生)「SDGs 個人研究」



ペアで協力して取り組む（8年生）

SDGsの目標を達成するために、自分たちで試行錯誤しながら、水を濾過する装置を作ってみました。

社会や海外ではどういった問題が起きていて、どのような取り組みをしているのだろうか。自分で決めたSDGsの目標についてしっかり調べて理解しようと思いました。



個人で探究活動に取り組む（9年生）

義務教育完成期では、SDGs（持続可能な開発目標）について、教科で学習した内容を発展させ、経済、社会、環境などのテーマの中から自分の興味のあるものを1つ選び、探究活動を進めています。当初は扱う内容が難しく、またパソコン操作にも苦労していました。しかし、社会の諸問題について調べていくうちに、学校での学びが外にも広がっていき、「ニュースを見るようになった」、「将来環境保護に関わる職に就きたい」、「通学途中の何気ない風景を注意して観察すると、身障者にとって住みづらいものであると思うようになった」など社会に関心の目を向け始めた声が増えるようになりました。現在は、12月の発表会に向け準備を進めています。

「研究開発だより」（カラー版）をHPに掲載していますので、併せてご覧ください。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/fmihara/kenkyu/>